

(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会

日時：令和6年10月29日(火)

午後2時から

場所：宇治市役所

7階 特別会議室

<次第>

- 1 開会
市長（選考委員長）あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 校名選考の経過及び今後の日程
- 4 校名の選考
- 5 その他
- 6 閉会

【資料等】

- ・(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会 委員名簿
- ・(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会 設置要項
- ・資料① 校名選考の経過及び今後の日程
- ・資料② 小中学校・愛称候補名一覧
- ・資料③ 宇治市立小中学校名一覧
- ・資料④ 西小倉地域小中学校の沿革について
- ・資料⑤ 西小倉地域及び小中学校の変遷について

(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会

委員名簿

区分	所属等	氏名
保護者代表	西小倉小学校 P T A 会長	前畑 臣吾
	北小倉小学校 P T A 会長	志岐 夕紀子
	南小倉小学校 P T A 会長	大友 麻美
	西小倉中学校 P T A 会長	宇土 明子
地域代表	西小倉小学校学校運営協議会 委員	門脇 洋子
	北小倉小学校学校運営協議会 委員	黒田 忠雄
	南小倉小学校学校運営協議会 委員	太壽堂 祐美
	西小倉中学校学校運営協議会 委員	栗下 加代子
学校長	西小倉小学校長 校長	芦田 吉生
	北小倉小学校長 校長	市橋 公也
	南小倉小学校長 校長	手塚 ゆかり
	西小倉中学校長 校長	齋藤 英司
行政関係者	宇治市長	松村 淳子
	宇治市教育委員会 教育長	木上 晴之
	宇治市教育委員会 教育部長	福井 康晴

(合計 15名)

(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会設置要項

(目的及び設置)

第1条 (仮称) 西小倉地域小中一貫校 (以下「小中一貫校」という。) の小学校及び中学校の「学校名」及び「愛称」を選定するにあたり、公正かつ適切に期するため、(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考委員会 (以下「委員会」という。) を設置する。

(担任事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について所掌する。

- (1) 小中一貫校の小学校及び中学校の「学校名」に関すること
- (2) 小中一貫校の「愛称」に関すること
- (3) その他、委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、宇治市長をもって充てる。

3 委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校、西小倉中学校 (以下「3小1中」という。) の各校長
- (2) 3小1中の保護者の代表者 (前1号に掲げる者がそれぞれ推薦する者)
- (3) 3小1中の地域の代表者 (前1号に掲げる者がそれぞれ推薦する者)
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育長が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する事項の選定を終えたときに満了する。

(委員長)

第5条 委員長は、会務を総理し、委員会の会議の議長となる。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の合意で決する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会教育部教育支援センター学校改革推進課において処理する。

(委任)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て委員長が定める。

附 則

- 1 この要項は、令和6年7月5日から施行する。

(仮称) 西小倉地域小中一貫校 校名選考の経過及び今後の日程

<経過>

令和6年 7月 5日 (仮称) 西小倉地域小中一貫校の学校名及び愛称
募集要項 制定

令和6年 7月17日 文教・福祉常任委員会報告
「(仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業について」
《校名等の募集 について》

令和6年 7月19日 学校名及び愛称募集を開始 (募集期間8月30日まで)

令和6年 8月 1日 「市政だより」に学校名及び愛称募集記事を掲載

令和6年 9月 6日 応募結果

	応募 件数	投票 候補件数	備考
小学校名	101件	69件	応募名称のうち、使用されている文字が同じ名称は1件の投票候補として整理
中学校名	93件	52件	
愛称	121件	83件	

令和6年 9月12日 一次選考に係る投票受付開始(投票期間9月30日まで)

令和6年 9月15日 「市政だより」に投票による一次選考記事を掲載

令和6年10月 9日 一次選考結果 投票総数915票 (有効のみ)
《うち西小倉地域小中学校児童生徒730票》

令和6年10月29日 投票数上位候補名を、校名選考委員会で選考

<今後のスケジュール(予定)>

- ・ 本日の選考結果を受けて教育委員会へ報告
- ・ 文教・福祉常任委員会報告 (令和6年11月13日 (水))
- ・ 令和7年3月 市議会「宇治市立学校設置に関する条例」改正を提案予定
- ・ 校歌、校章、制服等について、開校準備委員会において検討

小学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票番号	小学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
2	宇治巨椋小学校（うじおぐらしょうがっこう） ・宇治にも（小倉ではなく）巨椋にも歴史があるので是非使用したいと思った。 ・小倉の地域において巨椋の名は非常に大切。ただ小倉小との違いをつけるため、宇治をつけた。
3	宇治おぐら小学校（うじおぐらしょうがっこう） ・「宇治」を付けることで府外の人にも学校の場所がイメージしやすい。 地域名の「西小倉」にすると北小倉小や南小倉小が西小倉小に吸収されたように感じるので、各学校名で共通の「小倉」を残すのが公平だと思う。 小倉小学校は存在するので「宇治」を付けることで新しい学校になる。 また、ひらがなの「おぐら」にすることで「巨椋池」の歴史と「小倉町」の歴史を繋ぐ。 漢字の「小倉」だと九州の「こくら」と勘違いされることもあるので、それを避けることもできる。 ・宇治にも（小倉ではなく）巨椋にも歴史があるので是非使用したいと思った。 （おぐらだけひらがなにしましたが、小学校なのでそこだけひらがなでもいいかと思った。）
5	宇治小倉学園初等部小学校（うじおぐらがくねんしょうぶしょうがっこう） ・歴史ある宇治市と小倉の地名を冠した新しい学舎にふさわしいネーミングにしたかったため。
6	宇治小倉鳳凰小学校（うじおぐらほうおうしょうがっこう） ・旧校から新校へ生まれ変わることから、新しく生まれ変わる鳳凰をイメージしその名とした。 また、今後の宇治市の学校教育のシンボルでもあるので、宇治市のシンボリック存在である平等院の鳳凰をもイメージしている。
8	宇治鳳凰小学校（うじほうおうしょうがっこう） ・この地域は昔、巨椋池があった所であり、巨椋池では蓮が有名。この巨椋池の蓮には固有種に【鳳凰】という種があるそう。また、宇治といえば、平等院鳳凰堂であり、そこから【鳳凰】をつけた。
9	巨椋小学校（おぐらしょうがっこう） ・宇治にも（小倉ではなく）巨椋にも歴史があるので是非使用したいと思った。 ・旧巨椋池を連想し、もっとも近くに接した3小学校の新校名として、ふさわしいと思った。
10	おぐら小学校（おぐらしょうがっこう） ・（記載なし）
11	巨椋池小学校（おぐらいけしょうがっこう） ・宇治で暮らす人は巨椋池のことをよく知っているが、最大の池である湖山池よりも広い池があったことはあまり知られていない。この地に巨椋池があったことを知ってほしいし、忘れたくないので学校名にした。 ・学校とも巨椋池干拓田の跡地に建てられ、小学生は在学中に「巨椋池」の歴史を学ぶ。様々な変遷を刻んできた巨椋池を慈しみ、その歴史に誇りと地域を愛する心を育てていくためにも「巨椋池」の名称を付けて欲しい。 ・校歌の歌詞より。
12	おぐら池小学校（おぐらいけしょうがっこう） ・宇治で暮らす人は巨椋池のことをよく知っているが、最大の池である湖山池よりも広い池があったことはあまり知られていない。この地に巨椋池があったことを知ってほしいし、忘れたくないので学校名にした。 上記の理由と巨椋には常用漢字表にない漢字が含まれているので平仮名の「おぐら」にした。 ・まえにそこにおぐら池があったから。

小学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票番号	小学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
16	小倉第二小学校（おぐらだいにしょうがっこう） ・子供達が長い時間通う事になる学校という事で、名称で奇をてらわずに、永く地域の方から親しみやすい名前になるように考えた。また宇治市内の他の学校名とのバランスも考慮した。 ・3校が統合と言うことだが小倉小学校がすでにあるので第二というのを付け加えた。
17	小倉西小学校（おぐらにししょうがっこう） ・子供達が長い時間通う事になる学校という事で、名称で奇をてらわずに、永く地域の方から親しみやすい名前になるように考えた。また宇治市内の他の学校名とのバランスも考慮した。 ・西小倉地域の初開校小学校は、西小倉小学校。当時地域の子ども達は小倉小学校に通学していたが、生徒数の増加により、地域の要望も踏まえ今の西小倉小学校が開校された。本来は西小倉小学校で良いかも知れませんが後の南・北小学校の関連もあり、「小倉西小学校」の校名を提案する。
20	巨椋野小学校（おぐらのしょうがっこう） ・歴史的な地名を学校名とすることで、西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校が、これまで培ってきたレガシーを発展的に統合したことがイメージできる。また、温故知新で、過去の地域名を名のすることで、新たな学校づくりを構想し、未来に思いを馳せることもできる。 ・校歌の歌詞より。
26	神楽小学校（かぐらしょうがっこう） ・一貫校が地域に根付き繁栄する事を願い、神様に捧げる歌や踊りを意味する「神楽」を名称に推薦します。近鉄小倉駅やミュージアムのある地が「神楽田」な点にも縁を感じ、また、「おぐらのかぐら」と呼びやすい。
29	北南西小学校（きなせしょうがっこう） ・今までの名前の一部を入れる事で、前の人も地域を忘れないように。北小倉小学校の人は、本当なら、ちがう中学校に行く予定だったから、一番最初にした。
31	しあわせな小学校（しあわせなしょうがっこう） ・みんながけんかせずにできるかなとおもいました。
36	新小倉小学校（しんおぐらしょうがっこう） ・歴史ある小倉小学校と区別するが、小倉の地名は残したいので。 ・新しく小倉地域にできた小学校であるから。地域の名称である、「小倉」という漢字は、既存の学校名としてある、小倉と西・南・北の方角を使った小倉は使えないから。覚えやすく、流行り廃りがないから。
41	TANOSII小学校（たのしいしょうがっこう） ・たのしいわくわくした小学校。
46	なかよし小学校（なかよししょうがっこう） ・ケンカなく楽しい学校になってほしいなと思ったから。 ・小学校では、なかよしにしたほうがいいから。 ・みんなげんきにいけるようにいじめのないなかよしながっこう。
47	におわせおそろっち小学校（におわせおそろっちしょうがっこう） ・おねえちゃんのあだなだから。

小学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票番号	小学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
48	西小倉小学校（にしおぐらしょうがっこう） ・ シンプルでわかりやすく、親しみがある為。 ・ 元々西小倉小学校より分離した学校の統合であるため。地域名が西小倉地域であるため。 ・ 「西小倉コミセン」「西小倉自治連合会」など、「西小倉」という名が既に各所で根付いており、いずれも現西小倉小学校区、南小倉小学校区、北小倉小学校区の範囲を対象としている為、新小学校名として過不足なく適当。 ・ ややこしかったり、ひねったりした名前は学校名にはなじまない。地域名であり、馴染があり、単純であり、複雑な名前より一番わかりやすく良い。 ・ この地域の発展とともにできた小学校なので、名前を残しておきたいから。 ・ 地域を代表する名前。 ・ 西小倉地域にできる小学校のため、西小倉の名称で統一した方が分かりやすいと思うため。 ・ 校区内で一番人口が多いから。 ・ 現行のまま。 ・ 地元に根付いている。 ・ 自分が通っている学校なので、名前を残したいから。 ・ 西小倉地域にある学校であり、元は西小倉小から北小倉小や南小倉小から分離したから。 ・ この地域に学校を設置するとなった時に、「西小倉」という名前は、この地域の位置等をよく表しているため。 ・ 一体感を持たせる意味で小中同じ名前の方がよいと思う。南・北小倉小の卒業生の方には申し訳ないが、違う名前にすると覚えてもらうにもややこしくなるので。わかりやすいのが一番いい。 ・ 定着している名前だから。 ・ 西小倉地域においては伊勢田町にあるが、既存名称の「西小倉小学校」と「西小倉中学校」が最適と考えた。※旧巨椋池のあった西小倉地域として「巨椋」、「蓮池」、「朱雀」以外に宇治の象徴として「鳳凰」もあるが、学校名としては不適と考えた。
51	にしおぐら小学校（にしおぐらしょうがっこう） ・ 3小学校のどれかの小学校に統合ではなく、新たな小学校として開設するものであり、在校生にとって、吸収統合でないことを実感してもらえるのが良いのではないかと考えたため。
55	西小倉総合小学校（にしおぐらそうごうしょうがっこう） ・ 西小倉の周辺を兼ねた意味を持つ。
60	蓮見小学校（はすみしょうがっこう） ・ 西小倉地域には、昔、広大な巨椋池が広がり、そこは蓮の名所であったことから、今後も、蓮が繁茂するように、新しい小学校の統合、小中一貫校、西小倉地域が繁栄することを願い名称を考えた。

中学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票番号	中学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
2	伊勢田中学校（いせだちゅうがっこう） ・他に同等の名の中学校が無く使用に差し支えが無いと思った為、また、現住所の西宇治中学校での重複を回避する必要が無くなった為。
3	宇治巨椋中学校（うじおぐらちゅうがっこう） ・宇治にも（小倉ではなく）巨椋にも歴史があるので是非使用したいと思った。 ・小倉の地域において巨椋の名は非常に大切。
4	宇治おぐら中学校（うじおぐらちゅうがっこう） ・施設一体型なので既存の「西小倉中学校」のままで良いと思うが、小学校名と同じようにすることで一貫校として一体感が生まれるように思うので揃えてほしい。 新たな中学校として生まれ変わってほしい。
5	宇治小倉学園中等部中学校（うじおぐらがくえんちゅうとうぶちゅうがっこう） ・歴史ある宇治と小倉の地名を冠した新しい学舎と一貫校にふさわしいネーミングにしたかったため。
6	宇治小倉小中学校（うじおぐらしょうちゅうがっこう） ・宇治おぐらという地名をアピールしたいから。
7	宇治小倉西中学校（うじおぐらにしちゅうがっこう） ・地域には従来から西小倉中学校しか無く、そのままで良いと思いますが、少し宇治市を強調し、宇治の小倉の西の場所という存在感を出した校名を提案する。
8	宇治小倉鳳凰中学校（うじおぐらほうおうちゅうがっこう） ・小中一貫教育であることからあえて名前を分けてはいけない。 宇治小倉鳳凰学校 初等部、中等部でもいいと思う。
9	宇治鳳凰中学校（うじほうおうちゅうがっこう） ・この地域は昔、巨椋池があった所であり、巨椋池では蓮が有名。この巨椋池の蓮には固有種に【鳳凰】という種があるそう。また、宇治といえば、平等院鳳凰堂であり、そこから【鳳凰】をつけた。
10	小倉中学校（おぐらちゅうがっこう） ・宇治市に小倉町の名があるのは『万葉集』に柿本朝臣人麻呂之歌集所出の雑歌として「巨椋の入江響むなり 射目人の 伏見が田居に 雁渡るらし」と詠まれた歌が収録されているからかもしれない。その大切な「小倉」の名前を残したいので小倉中学校とした。 ・小倉の地域の学校ということと3校を統合して、その一貫校として、やはり小倉の文字は残したいと思いこの名前にした。 ・木幡に小学と中学があるので覚えやすいし、既存にもない？ので。 ・任天堂ミュージアム開業、近鉄小倉駅西・東側整備など「小倉」のまちの潮目の変わるタイミングで「小倉」（巨椋）をより盛り立てていく思いを込めた。かつ「宇治」のつく中学校に付随する方角は全て存在するため。 「小倉」で統一する場合のための記載。 ・区別する必要がないので、「西」は不要。

中学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票番号	中学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
11	巨椋中学校（おぐらちゅうがっこう） ・任天堂ミュージアム開業、近鉄小倉駅西・東側整備など「小倉」のまちの潮目の変わるタイミングで「小倉」（巨椋）をより盛り立てていく思いを込めた。かつ「宇治」のつく中学校に付随する方角は全て存在するため。 ・「巨椋池の歴史をうずめ、みんなで築く新しい町」（北小倉小学校校歌）であることを覚えていて欲しいのと、歴史を知り、歴史から学べる人になって欲しいという思いから。 ・いにしえの巨椋池を中心に地域の歴史的な発展があり現代の豊かな文化を育んでくれた太古の池に感謝の気持ちをもって・・・。 ・地名を付さない概念指向の小学校名とは対照に、中学校名は①その場で育ったことへのシビックプライドの醸成と、②小倉の地名を冠した公立中学校が無くなるのを防ぐことを目的に、地名の「おぐら」が入った校名が適切でないかと考えた。については「小倉」でも良いかもしれないものの、当該地が巨椋池の跡地にあることから、温故知新、新たなスタートには「巨椋」が相応しいと考えた。
12	巨椋池中学校（おぐらいけちゅうがっこう） ・西小倉地域を包括する中学校は、歴史的見地からも、その基盤となる「巨椋池」の名称を付け、末長く地域に愛されることを願う。 ・校歌の歌詞より。
17	小倉第二中学校（おぐらだいにちゅうがっこう） ・子供達が長い時間通う事になる学校という事で、名称で奇をてらわずに、永く地域の方から親しみやすい名前になるように考えた。また宇治市内の他の学校名とのバランスも考慮した。
18	小倉西中学校（おぐらにしちゅうがっこう） ・子供達が長い時間通う事になる学校という事で、名称で奇をてらわずに、永く地域の方から親しみやすい名前になるように考えた。また宇治市内の他の学校名とのバランスも考慮した。
26	神楽中学校（かぐらちゅうがっこう） ・一貫校が地域に根付き繁栄する事を願い、神様に捧げる歌や踊りを意味する「神楽」を名称に推薦します。近鉄小倉駅やミュージアムのある地が「神楽田」な点にも縁を感じ、また、「おぐらのかぐら」と呼びやすい。
31	サッカー強すぎ中学校（さっか一つよすぎちゅうがっこう） ・（記載なし）
36	楽しい中学校（たのしいちゅうがっこう） ・（記載なし）
39	なかよし中学校（なかよしちゅうがっこう） ・みんなげんきにいけるようにいじめのないなかよしながっこう。
41	にこにこ中学校（にこにこちゅうがっこう） ・にこにこえがおにしたいほうが、中学校ではいいから。

中学校候補名一覧表

(50音 投票番号順・投票数上位20まで)

投票 番号	中学校名（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
42	西小倉中学校（にしおぐらちゅうがっこう） ・西小倉地域にできる中学校のため、西小倉の名称で統一した方が分かりやすいと思うため。 ・ややこしかったり、ひねったりした名前は学校名にはなじまない。地域名であり、馴染があり、単純であり、複雑な名前より一番わかりやすくて良い。 ・元の校名を引き継いで、西小倉中学校とした。 ・同じままでいいと思います。 ・元々馴染みのあった名前でも学校所在地はこの名前を通じるので、西小倉中学校のままがいいと思う。 ・西小倉地域、および市民にとって馴染みの深い名称を小学校か中学校で残すべきと考えた。 ・変更する必要はないと思います。 ・「小倉」がつく中学校が市内で1校だけなので「西小倉」は残してほしいという思い。 ・中学校は統合がないため。地域名が西小倉地域であるため。 ・同敷地内に併設する小学校と同じ名前にすべき。 宇治小学校と宇治中学校が全く別の場所にあるのは分かりにくすぎる。 「西小倉コミセン」「西小倉自治連合会」など、「西小倉」という名が既に各所で根付いており、いずれも現西小倉小学校区、南小倉小学校区、北小倉小学校区の範囲を対象としている為、新中学校名として過不足なく適当と思います。 ・地域の名前、変える必要はない。 ・現行のまま。 ・地元に根付いている。 ・変わらずその名前にしたいから。 ・小中一貫校になるが、これまでの西小倉中の歴史、伝統を礎に開校するので、変える必要がないから。 ・昔からの名前なので、残したい。 ・定着している名前だから。 ・地域の方から親しみがある。名残とて残す。愛称時に西小倉として統一感が出るため。 ・現在の校区では北宇治進学地域も含むものの、進学先としてはあまり大きな変化はないものと考えられるため。 ・西小倉地域、および市民にとって馴染みの深い名称を小学校か中学校で残すべきと考えました。 ・もともとある中学校名で、中学校の統合はないため、変える必要はないかと思う。「西小倉中学校」が引き続き残ることで、地域の愛着も残せたらいいなと思う。 ・地域に親しみのある校名なので残した方が良いと思う。
43	西巨椋中学校（にしおぐらちゅうがっこう） ・学園名称に合わせるため。 ・昔の巨椋池をよく知っている子供達だから。

愛称候補名一覧表

(50音 投票番号順の投票数上位20まで)

投票番号	愛称（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
3	うじ学園(うじがくえん) ・うじしりつにしおぐらにしようかと思ったけど、かきなおしたときに、うじだけいいかと思ったから。
4	宇治小倉学園(うじおぐらがくえん) ・歴史と伝統、新しい学舎を感じられる愛称にしたかったため。 ・大切な「小倉」の名前を残したいのと、小倉を検索すると九州の「小倉」が必ず出てくるので「宇治小倉」にした。 ・小倉という地域の名称を大切にしたい、その思いでこの名前を考えた。 ・全ての応募の第1候補として「おぐら」の字を「巨椋」と当てているが「巨椋池」当時の風光明媚で山城の中心であったランドマークを忘れないようにしたいという思いを込めた。「宇治市」のニュアンスも残している。 ・「小倉」で統一する場合のための記載。 ・宇治黄檗学園のように分かりやすいのではと考えた。 ・「宇治市の小倉地域にある学園」として「宇治小倉学園（うじおぐらがくえん）」の愛称を考えた。
5	宇治巨椋学園(うじおぐらがくえん) ・宇治にも（小倉ではなく）巨椋にも歴史があるので是非使用したいと思った。 ・小倉の地域において巨椋の名は非常に大切。 ・全ての応募の第1候補として「おぐら」の字を「巨椋」と当てているが「巨椋池」当時の風光明媚で山城の中心であったランドマークを忘れないようにしたいという思いを込めた。「宇治市」のニュアンスも残している。 ・宇治の巨椋池があったあたりにある学校だとわかってもらえと思ったので。 ・今までにない、新しい教育環境を目指して、西小倉地域の小中一貫校として、巨椋（おぐら）の字をあて、さらに宇治市をアピールできると考えた。 ・元々小倉池を干拓した地域である、地域の歴史を誇りに思えるように。元の小倉村、現宇治市小倉町の音を入れて耳馴染みのよいものにするため。 ・々当地域は「巨椋池」の干拓地であり、まつわる歴史は継承したい。又、東の黄檗学園との相性も良く、地域に存在する「城南菱創高等学校の校名の菱と巨椋池の関係も繋がり、是非提案したい。 ・この地域は昔、巨椋池があった所であり、巨椋池では蓮が有名。この巨椋池の蓮には固有種に【鳳凰】という種があるそう。また、宇治といえば、平等院鳳凰堂であり、そこから【鳳凰】をつけた。 ・宇治黄檗学園に続く二校目なので、同じスタイルを踏襲。歴史ある巨椋池にちなんで、巨椋を使用。 ・1校目が宇治黄檗学園なので2校目も宇治を冠し、歴史ある小倉を昔ながらの巨椋と表記したら将来も続いてゆく学園が新しい中にも、古を感じとれて良いと思う。

愛称候補名一覧表

(50音 投票番号順の投票数上位20まで)

投票番号	愛称（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
6	宇治おぐら学園（うじおぐらがくえん） ・宇治おぐらという地名をアピールしたいから。 ・既にある「宇治黄檗学園」にならって「宇治〇〇学園」という規則性のある命名することで宇治の一貫校がもう1つあることが分かりやすく、一貫校として一体感が生まれるように思う。 - 次の一貫校の愛称も「宇治〇〇学園」と続けてほしい。 ・大切な「小倉」の名前を残したいのと、小倉を検索すると九州の「小倉」が必ず出てきますので「宇治小倉」にした。 「こくら」と間違われなように平仮名の「おぐら」にした。 ・現在通学している各小中学校の児童・生徒が新しい校舎にも親しみやすい「おぐら」を使用し、「小倉」、かつてあった「巨椋（池）」などの歴史も感じられるように。「宇治」は全国的に通用するのと、宇治黄檗学園もあるので、市内の小中一貫校の2軒目感も出せる。
8	宇治巨椋池学園（うじおぐらいけがくえん） ・校歌の歌詞より。
11	宇治小倉小中一貫教育校学園（うじおぐらしょうちゅういつかんきょういくこうがくえん） ・大切な「小倉」の名前を残したいのと、小倉を検索すると九州の「小倉」が必ず出てきますので「宇治小倉」にしました。
13	宇治巨椋野学園（うじおぐらのがくえん） ・まえにその土地におぐら池があったから。
17	宇治西小倉学園（うじにしおぐらがくえん） ・宇治の地で住んでいることを再認識できる愛称が、良いのではないかと考えたため。 ・愛称としてなじみやすく、おぼえやすく、書きやすいから、地域とともにあるコミュニティ・スクールとしての意識付けにもつながる。
20	巨椋学園（おぐらがくえん） ・巨椋池の中心部にあたる地域というのもあり、小倉より巨椋の方がカッコいいと思った。 ・昔は巨椋池だったから。 ・昔、巨椋池跡地の干拓田ですので、巨椋を残してほしい。
21	巨椋池学園（おぐらいけがくえん） ・地域の歴史や変遷がわかり、地域住民に馴染みのある名称。 ・昔は巨椋池だったから。
24	小倉総合学園（おぐらそうごうがくえん） ・小倉と付いているのが4つの学校の共通点だから。
27	巨椋鳳凰学園（おぐらほうおうがくえん） ・この地域は昔、巨椋池があった所であり、巨椋池では蓮が有名。この巨椋池の蓮には固有種に【鳳凰】という種があるそう。また、宇治といえば、平等院鳳凰堂であり、そこから【鳳凰】をつけた。
36	クローバー学園（くろーばーがくえん） ・四つの学校が集まってできた新しい学校だから。
47	777ラッキークッキー学園（とりぶるせぶんらっきーくっきーがくえん） ・奇跡の一貫校。

愛称候補名一覧表

(50音 投票番号順の投票数上位20まで)

投票番号	愛称（ふりがな） ＜ 応募理由 ＞
49	なかよし学園（なかよしがくえん） ・みんなげんきにいけるようにいじめのないなかよしながっこう。
53	西小倉学園（にしおぐらがくえん） ・西小倉の名称で統一した方が分かりやすいと思うため。 ・ややこしかったり、ひねったりした名前は学校名にはなじまない。地域名であり、馴染があり、単純であり、複雑な名前より一番わかりやすく良い。 ・「西小倉」は地いきでなれている名前だから。 ・この地域の名前を付けたいから。 ・西小倉小・中学校なので、西小倉学園が一番ふさわしいと思う。 ・迷わずに揃えた方がわかりやすいから。 ・シンプルで分かりやすく、覚えやすい。 ・もともと西小倉中学校があつて西小倉という名前をつぎたかったから。 ・西小倉地域にあるから。
60	西小倉総合学園（にしおぐらそうごうがくえん） ・西小倉の小中を総合化した事を強調する為。 語呂が良い為。
72	フェニックス校学園（ふえにつくすこうがくえん） ・鳳凰のイメージをそのまま 英文化した。 また スポーツ大会の時などに、応援する際は 鳳凰 よりも フェニックスの方が 響きがいいと思う。
75	南小倉学園（みなみおぐらがくえん） ・シンプルで分かりやすく、覚えやすい。 「南」と言う名前は中学校では初の為に覚えやすく、真新しく、新鮮味があると思った為。
76	南小倉総合学園（みなみおぐらそうごうがくえん） ・西小倉の小中を総合化した事を強調する為。語呂が良い為。 「南」と言う名前は中学校では初の為に覚えやすく、真新しく、新鮮味があると思った為。
82	よつば学園（よつばがくえん） ・四つの学校が集まってできた新しい学校だから。

宇治市立小中学校名一覧

資料③

小学校名	ふりがな	所在地
菟道小学校	とどう	宇治塔川102
菟道第二小学校	とどうだい2	宇治琵琶63-3
神明小学校	しんめい	神明石塚32
槇島小学校	まきしま	槇島町吹前35
北槇島小学校	きたまきしま	槇島町本屋敷40-2
小倉小学校	おぐら	小倉町西畑1-4
伊勢田小学校	いせだ	伊勢田町井尻3
西小倉小学校	にしおぐら	伊勢田町遊田69
北小倉小学校	きたおぐら	小倉町堀池72
南小倉小学校	みなみおぐら	小倉町南浦40-1
大久保小学校	おおくぼ	広野町中島1-1
大開小学校	おおひらき	広野町大開35
西大久保小学校	にしおおくぼ	大久保町旦棕25
平盛小学校	ひらもり	大久保町平盛91-3
宇治小学校	うじ	五ヶ庄三番割27
三室戸小学校	みむろど	菟道岡谷16-2
南部小学校	なんぶ	五ヶ庄戸ノ内15-1
岡屋小学校	おかや	五ヶ庄寺界道37-3
木幡小学校	こはた	木幡赤塚4
御蔵山小学校	おくらやま	木幡御蔵山39-4
笠取小学校	かさとり	西笠取石原22
笠取第二小学校	かさとりだい2	炭山直谷31

学園名	ふりがな
宇治黄檗学園	うじおうばく
宇治小学校と黄檗中学校の施設一体型の小中一貫校	
学園名	ふりがな
宇治ひろの学園	うじひろの
大久保小学校、大開小学校と広野中学校の3校で形成する施設分離型の小中一貫教育校	

小学校名	
中学校名	
学園名	
所在地	伊勢田町遊田7-1
西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校と西小倉中学校が統合した、施設一体型の小中一貫校	

中学校名	ふりがな	所在地
宇治中学校	うじ	宇治矢落64-1
北宇治中学校	きたうじ	槇島町島前33
槇島中学校	まきしま	槇島町本屋敷35-1
西小倉中学校	にしおぐら	伊勢田町遊田7-1
西宇治中学校	にしうじ	伊勢田町南山21-1
南宇治中学校	みなみうじ	大久保町平盛31-5
広野中学校	ひろの	広野町尖山3
東宇治中学校	ひがしうじ	五ヶ庄池ノ浦36-1
木幡中学校	こはた	木幡内畑34
黄檗中学校	おうばく	五ヶ庄三番割27

西小倉地域小中学校の沿革について

①西小倉小学校

開校時期	昭和44年4月
沿革	宇治市10番目の小学校として、17学級637人で小倉小学校から分離開校しました。 最大で昭和52年度に最大33学級、1,377人になりました。
校章・校歌	 西小倉小学校校歌 作詞 森田勝治 作曲 網代英三 一 今小倉野に朝がきて 宇治の川霧はれるとき 共になかよく手をとって みんないっしょにはげみ行く ああ 楽しい学校 西小倉小学校 二 巨椋の昔あともなく 進む文化にさきがけて 心をみがき身をきたえ 意気と力のわくところ ああ 栄ある学校 西小倉小学校 三 見わたす四方の山なみに 自然のおしえ身にしまて 高鳴るのぞみ育てつつ 大きく強く伸びて行く ああ 心のふるさと 西小倉小学校

②北小倉小学校

開校時期	昭和48年4月
沿革	宇治市15番目の小学校として、12学級435人で西小倉小学校から分離開校しました。 最大で昭和52年度に31学級、1,258人になりました。
校章・校歌	 北小倉小学校校歌 作詞 小森 香子 作曲 大西 逸子 一 みんなで たこを あげたら あしたの空に とどくだろう みんなの 校庭をうづめ 世界一周 できるだろう 巨椋池の 歴史をうづめ みんなできずく 新しい町 植えよう 緑の木を のびよう のびよう やがて大きな 緑の木になろう 二 みんなで 歌を 歌ったら あしたの夢を 呼ぶだろう みんなの 力をあわせたら すてきな学校 できるだろう 北小倉の 仲間みんな いつも仲良し がんばる子ども 植えよう 植えよう 若木を のびよう のびよう やがて大きな 緑の木になろう

③南小倉小学校

開校時期	昭和53年4月
沿革	宇治市21番目の小学校として、20学級834人で西小倉小学校・北小倉小学校から分離開校しました。 最大で昭和55年度に30学級、56年度に1,043人になりました。
校章・校歌	 南小倉小学校校歌 作詞 山本 明子 作曲 南小倉小学校職員 編曲 亀井 武雄 一 見あげよう この巨椋野の 広い空 明るい日さし ぼくを 包み わたしを はぐくむ 太陽の 光りあふれる 南、南小倉小学校 二 見はるかす 宇治の山なみ 宇治川の 清き流れよ ぼくを 見守り わたしを はげます ふるさとの 恵み豊かな 南、南小倉小学校 三 見つめあう 友の瞳に 信じあう 希望の光り みんなの 学び みんなの 手を組み 新しい 歴史を拓く 南、南小倉小学校

④西小倉中学校

開校時期	昭和53年4月
沿革	宇治市7番目の中学校として、9学級375人で北宇治中学校から分離開校しました。 最大で昭和60年度に24学級、1,003人になりました。
校章・校歌	 西小倉中学校校歌 作詞 只川治男 作曲 青柳五一 一 四方の山なみ 美わしく 恵み溢れる ふるさとに 集いし友よ 健やかに 若き血潮ぞ 意気高く 明るい日々を 励みゆく あわれらの 学び舎 西小倉 二 巨椋の森の 寄生木に 葦刈る池を しるびつつ 未来に生きる いしづえを 心豊かに 逞しく 力を尽くし 学びゆく あわれらの 理想 西小倉 三 宇治の川瀬の 水車 たゆまぬ努力 一筋に 露隔てなき 友情を たたえ育む 若人が 誠の道を 拓きゆく あわれらの 誇り 西小倉

西小倉地域及び地域内小中学校の変遷について

学校改革推進課作成

	巨椋池／西小倉地域	西小倉小	北小倉小	南小倉小	西小倉中
	国内有数の自然豊かな湖（周辺の人々に恵み） 〔東西4km 南北3km 周囲16km 約800ha〕	3小1中の取組沿革については各校が発行する要覧等の記載内容をもとにしています			
～中世	直接宇治川が流入し淀川へ				
近世初頭	豊臣秀吉が土木工事 横島堤、小倉堤など3本の堤が南北に縦断⇒4つの水域（池）に分割				
近代	淀川流域洪水を防ぐ工事 ⇒新流路が作られる（藻の減少、浮草の繁殖で魚介類の生育環境が悪化し、数量が減少）				
明治6年（1873年）			小倉小開校		
明治22年（1889年）	町村制施行により小倉村・伊勢田村・安田村が合併し久世郡小倉村が成立				
大正4年（1915年）	ムジナモ（食虫植物）天然記念物指定⇒その後絶滅し、昭和15年指定解除に				
昭和8年（1933年）6月	巨椋池干拓工事起工式				
昭和16年（1941年）	巨椋池での漁業（コイ・フナ・ウナギ・ナマズ等）⇒この年まで行われる				
昭和22年（1947年）	小倉・大久保村組合立北久世中設立⇒翌23年南久世中と合併し、久世郡組合立久世中学校設立				北久世中開校
昭和26年（1951年）	小倉村が久世郡宇治町・横島村・大久保村及び宇治郡東宇治町と合併し宇治市が成立				
昭和28年（1953年）	南山城水害／台風13号による風水害				廃校
昭和31年（1956年）					西宇治中開校
昭和35年（1960年）	地域人口 165人				
昭和40年（1965年）	地域人口 1,700人と5年で10倍に（西浦・南浦・南堀池から住宅開発）	分離			
昭和44年（1969年）	急激な増加	開校（17学級 637人） 〔小倉小より分離〕 環境緑化努力校（府教委指定）			
昭和45年（1970年）	地域人口 10,300人と10年で60倍以上に（蓮池・堀池、山際等で住宅開発）				分離
昭和47年（1972年）	北宇治中開校（11学級 469人）〔宇治中・西宇治中より分離〕		分離		北宇治中開校
昭和48年（1973年）	浮面地域が伊勢田小学校区に編入		開校（12学級 435人） 〔西小倉小より分離〕	山際・南浦全地域が 南小倉小学校区に編入	
昭和49年（1974年）	伊勢田小開校（19学級 704人）〔西小倉小・小倉小より分離〕				
昭和52年（1977年）		最大学級数（33学級） 最大児童数（1,377人）	最大学級数（31学級） 最大児童数（1,258人）	分離	分離
昭和53年（1978年）				開校（20学級 834人） ※1～5年生のみ在籍 〔西小倉小・北小倉小より分離〕	開校（9学級 375人） 〔北宇治中より分離〕
昭和55年（1980年）				最大学級数（30学級）	
昭和56年（1981年）				最大児童数（1,043人）	
昭和57年（1982年）					生徒指導研究推進校 （57・58年文部科学省・府教委委嘱）
昭和60年（1985年）	地域人口 22,000人〔地域人口のピーク〕 （住宅地は西へ、北へ、南へ 砂田・遊田にも大規模宅地開発）				最大学級数（24学級） 最大生徒数（1,003人）
平成3年（1991年）		教育推進校（図画工作科） （市教委指定）			
平成4年（1992年）				水辺の暮らし資料館開室	情報教育研究指定校 （4・5府教委・市教委指定）
平成5年（1993年）		福祉教育推進校（市教委指定）		京都府学校給食努力校受賞	
平成6年（1994年）				社会科・生活科研究指定校 （市教委指定）	
平成7年（1995年）				福祉教育実践校（市教委指定）	
平成9年（1997年）			交通安全優良校受賞	環境教育実践校（市教委指定）	
平成10年（1998年）		教育研究校（社会）（10・11市教委指定） 福祉教育実践校（市教委指定） 社会福祉教育実践校（市教委指定） 社会福祉協力校（10～12市教委指定） ミニ巨椋池（観察池）整備	情報教育研究指定校 （10・11市教委指定）		
平成11年（1999年）				福祉教育実践校（市教委指定）	
平成13年（2001年）				情報教育研究協力校 （13・14府小学校教育研究会） LDに対する指導体制の充実事業研究協力校 （13・14府教委指定）	
平成14年（2002年）					ピオトープ推進モデル校 （市教委指定）
平成15年（2003年）					環境教育実践モデル事業校 （15・16・17文部科学省指定）
平成16年（2004年）			交通安全優良校受賞	地域ふれあい体験活動推進校 （16・17府教委指定） 食に関する指導の実践モデル校指定 ボランティア活動普及事業指定 （16～18府教委指定）	地域ふれあい体験活動推進校 （16・17府教委指定）
平成18年（2006年）			「京の子ども、夢・未来校」 「やましろ未来っ子」 ジョイントアップ研究開発校 （18・19府教委指定）		uji学びの森推進事業指定校 （18・19・20市教委指定）
平成21年（2009年）			学校版環境ISO認定校指定		
平成25年（2013年）				家庭学習促進実践研究事業 （25・26市教委指定）	
平成26年（2014年）				学校版環境ISO認定校指定	
令和3年（2021年）		研究協力校（体育） （3～5府小学校教育研究会指定）			